

近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものととして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。

衣類
申堅一札



49011

経済学部
研究室
5
1514



申張入言の札

一 積平の少使波^兼修^長は^同為^秋に
懐任切^書波^の倍^の相^倍の^申秋
今^幸志^の以^持は^る者^法在^方極^の
願^の懐^任切^相の^辨下^中間^の了^意難^者
は^今幸^の在^の依^のは^る法^の極^の教^の友

と受い糸々糸細水知年日使了銀
諸子何もは始末多色は忠は始末
中間へは治世は後賞の録
通へ所も事解中事其の先は
禁中合意處も相慎
事定法通へ夜類は道具は及の意

中興則ち相認事なる

魁頭夜類

一弓之谷

浦
表
棧白系糸
糸結陣下
張如桂

一 袷

袷 糸 葛 糸

袷 下

右 行 金 龍

玉 環

一 下 着

金 巾 下 着 深

袷 下

右 着 下 着

一 糸 織

袷 下 着 深

右 着 下

一 糸 織

糸 織

金 巾 下 着

一 糸 織

糸 織 深

一 麥 伴

余市南系
本館少收

一 出 心

出六丈

一 巾 巾

巾 巾 巾
并三寸巾

一 紙 入

紙 入
大紙 巾下

一 田 意 入

田 意 入
田 意 入
田 意 入

平 組

一 海 入 裕

海 入 裕
海 入 裕
海 入 裕

一 裕之藏

東洋館蔵
下
東洋館蔵
下

一 弟之藏

東洋館蔵
下
東洋館蔵
下

一 弟之の

東洋館蔵
下
東洋館蔵
下

一 弟之

東洋館蔵
下

一 弟之

東洋館蔵
下

一 弟之

東洋館蔵
下

一 下 市

白根文
寺下
何別

一 紙 入

好
寺
何別

一 丸 束 入

寺
何別

神元中

一 糸 入 袷

何別
寺下
何別

一 糸 入 の 太 巾

一 切字

宗江稿
何也字下

一 十 付

中野氏句
水少段社由京
何社字下

一 山 心

冬神字下

一 田 差 彩 入

志庵字下
小福社字
何社字下

一 未 女 子

最下字下

一 世 宗 心

清下字下

右ノ條ノ以テ處女ノ御所ニ
中ニシテ海ノ所ニ當リ今ノ
以テ海ノ所ニ當リ今ノ
少シク其言ニ申合ルニ
地ニ如ク

文政十三歲

寅之八月

烈頭中
平組中
初元中

烈頌

了度平形波... 後水...

林傳七



高店...

新井助彦



上原共七



稻葉金彦



金原九彦



田嶋文七



平組

岩橋源七



廣瀬文彦



中藤松彦



小川文彦



廣田五彦



田邊彦助



中川五彦



田矢久彦



長谷川彦助

青木彦助



中尾傳助



中山新助



高田成三郎

桑林長七



庄屋郎
氏七
子七
子七
孫三郎

銅場洋三郎

大板儀四



長七
河七
和七
定七
七



長七
去七
人七
奔七
之七
然七
書七

右八
步七
人七

別表

尾崎年三郎

河尾文三郎

三浦彦三郎

石井年三郎

山台 年三郎

坂田年三郎

中野年三郎

山本年三郎

中野年三郎

高橋年三郎

末松年三郎

喜山年三郎

高田年三郎

坂本年三郎

高野年三郎

高野年三郎

高橋年三郎

高橋年三郎

高橋年三郎

高橋年三郎

高橋年三郎

高橋年三郎


高橋年三郎


河田定佛 


吉留松木 


河原角末 

別當

河津冬節 

弓場春節 

山口安壽 

河津初藤 

廣枝水滂 

一

中野百言清

西脇与由


末松為七

坂田春三郎 

彦京二平七 

河原角末 

中嶋仙郎 

中野百言清 

西脇柴郎 

末松為七 

河田春三郎 

山口安三清

河津初藤

吉留松木

青石山

龜井

清石

坂本

福川

丹波

十
大
神
改

引
藤田

小
川

藤野

西
岡

川原

中
白

新

寺園
山

山
河


一
長岡孝如


平田長



平組

水山友七


村茂


川上同漢


品


甲佐


一
新入

二
多井傳如
北川武

一
初元

三
長岡
平田
七

人之公
功之良
學之良
如之如
太平如
大如

如之
如之
如之
如之
如之
如之

勸之良
善之良
作之良
又之良

保之良
保之良
保之良
保之良

嘉永五

子之春及

別願

大橋源吉 赤岩五郎

乃田平 山中重吉

中右定八 徳三郎

一 徳三郎 七

一 山田孝介 成中長八

一 山友七

平總

一 山田孝介 品川春三郎

一 山田孝介 吉井傳介

一 山田孝介 吉松長介

尾崎七郎
山本七郎
水尾七郎
一
福元

田中正三郎
村田七郎
天田七郎
乙部七郎

尾三郎
山本七郎
水尾七郎
尾三郎

尾三郎
山本七郎
水尾七郎
尾三郎

六
又
正
著
一

重
表
新
表
表

六
山
門
地
清

六
山
新
甲
甲



平絶
高井傳師
西村政師
吉田良師
屋崎七郎師
田中義師
北村少七

山崎長七
藤原義師
吉田少七
相田謙師
加藤金師

村田七
吉田謙師

竹崎三郎
高井義師

物
え

田中七

深也
深也
深也
皇也
臣也

郭也
苦也
羞人
事也
六

事也
羞也
作人
事也
臣也

羞也
羞也
羞人
事也
六

嘉永七年甲寅之夏

別紙

北山守七



田中波助

高井傳助

田中守七 ^{平組}

系川清八



品川喜三郎

北山武将

田中守七 ^{平組}

吉田作之助

三崎栄三郎

伴村三助

丹後三助

弓場藤助

直川伴八

北山喜七

三浦半助

杉本清七

増田清三郎

土田喜三郎

田村重助

福元
善三郎
新三郎
中三郎
半三郎
喜三郎
市三郎
深三郎

福元
庄三郎
茂三郎
藤三郎
半三郎
中三郎
新三郎
平三郎
五三郎

安政二乙

卯二月十日

北三郎
系三郎
界三郎
品川三郎

高三郎
北川武三郎
界三郎
村田三郎
吉田三郎
三島三郎

子組

三浦幸也

杉本源七

丹波甚也

増田源幸

弓切善也

吉田幸彦



日

直岡伴八

田村十也

墨守善彦

信及正彦

野田亮彦

井之善也



別記
石田吉也
三浦幸也
加藤善彦
吉田幸彦

石田源七
丹波善也
中野善彦
志剛伴八
田村幸也

平假
井上吉長
繪卷
生月
山澤
安政五年
申午ノ下段

日
中
河内
賢
清
我
印

松本
中坂
木橋
生月
板坂
山

刻
因
井上
繪
加
山

平足
法水多八

今申事

坊中八

日
福中傳

松原事

山名事

文久二年
戊
合後改

別頭

岩崎重三郎

杖橋元七

西中用助

高妻又助

別頭

今中字助

法水清重

吉原重吉

西川元七

平 陸 春 孫 七

丁 測 修 助

中 山 又 三 帝

組 川 候 笑 八

一 氏 田 孫 七

平 浪 新 又

川 原 修 助 又 帝

陸 春 九 八

乃 田 孫 三 帝

一 樹 上 笑 七

文 魁 頭

文 久 武 凌 月

今 井 修 七
岩 孫 三 帝
乃 孫 三 帝
西 村 孫 七
之 孫 三 帝
之 孫 三 帝
之 孫 三 帝
西 村 孫 七

少 祖

陸 春 孫 七
乃 田 孫 三 帝
中 山 又 三 帝
乃 田 孫 三 帝
乃 田 孫 三 帝
乃 田 孫 三 帝
乃 田 孫 三 帝
乃 田 孫 三 帝

融瓦川原被五郎

中村 之 八

菅田武 八

田中作 八

市村為 七

藤久多 七

村上藥 七

才之彌八

物之與八

在原被七

示組

匠村為 七

石田周 八

青井為 八

小山為 八

高田永 八

梅橋為 八

管作流 八

清久為 八

白井為 八

藤井為 八

山崎周 八



己卯年二月廿日
己卯年二月廿日

烈烈

周姓友
聖七八

同新
想伴
七

平組

志
八
新
夫
井

